

安来市水道ビジョン 資料編



平成22年5月

安来市

目 次

1 . 水道施設の状況	1
安来市上水道	1
【上水道施設フロ－図】	2
布部簡易水道	3
比田簡易水道	4
山佐簡易水道	5
西谷簡易水道	6
奥田原簡易水道	7
宇波簡易水道	8
伯太簡易水道	9
【伯太簡易水道施設フロ－図】	10
上十年畑簡易水道	11
小竹簡易水道	12
須谷飲料水供給施設	13
須山飲料水供給施設	14
草野飲料水供給施設	15
大郷飲料水供給施設	16
大谷飲料水供給施設	17
久根簡易給水施設	18
清水搔簡易給水施設	19
2 . 上水道事業の経緯	20
旧安来市	20
旧広瀬町	21
3 . 水道料金の推移	23
平成21年度の水道料金	23
旧広瀬町 水道料金	24
旧伯太町 水道料金	25
4 . 水道事業施設整備計画	26
上水道	26
簡易水道	27
5 . 水道事業 施設別統計	28
6 . 水道施設位置図	29

1. 水道施設の状況

安来市上水道

本市の上水道は、旧安来市と旧広瀬町の町部を給水区域とする施設であり、その施設の概要はフロー図（次ページ）のとおりです。

(1) 取水導水施設

現在使用している水源は4カ所あり、合計9カ所の浅井戸により取水しています（矢田水源地3カ所、宮内水源地3カ所、川平浄水場2カ所、富田浄水場1カ所）。この他に現在休止中の飯梨水源地があります。これらの水源の計画取水量の合計は9,820^m3/日で、平成20年度の日最大取水量は2,334^m3でした。また、島根県企業局より今津第1ポンプ場、今津第2ポンプ場、西荒島ポンプ場へ受水をうけています。現在の受水契約量の合計は最大11,000^m3/日で、平成20年度の日最大受水量は10,660^m3でした。

(2) 浄水送水施設

矢田水源地、宮内水源地（第1・2）、富田浄水場とも浄水施設として除鉄・除マンガンろ過機を設置し、塩素滅菌にて送水しています。今津第2ポンプ場、西荒島ポンプ場、吉田第1増圧ポンプ場には追加滅菌機を設置しています。川平浄水場はUF膜ろ過施設、塩素滅菌機を設置しています。

送水系統は矢田水源地、今津第1・第2ポンプ場、西荒島ポンプ場から社日配水池、神庭配水池、和田配水池、吉田低・高区の各配水池、および宮内水源地（受水槽）へ送水しています。宮内水源地からは大谷配水池、清水低・高区の各配水池および清瀬配水池へ送水しています。川平浄水場は川平配水池、面ノ子配水池、岩坪配水池へ送水しています。富田浄水場は富田配水池、川平高台配水池に送水しています。

(3) 配水施設

配水施設は配水池15カ所と配水池併用のポンプ所2カ所、調整池1カ所あり、総貯水容量は8,384^m3です。これに対し平成20年度の日最大給水量は13,369^m3でした。増圧ポンプ場は8地区（神庭、清瀬、清水、吉田、川平、祖父谷、岩坪、面ノ子）に合計15カ所あります。

水圧調整として、清水寺入口、川平高台地区に減圧弁が設けてあります。

(4) 施設整備上の課題

主要な施設の建設・拡張が昭和50年から昭和60年頃のため、耐用年限の経過や老朽施設が多くなってきており、適時修繕・更新を行う必要があります。

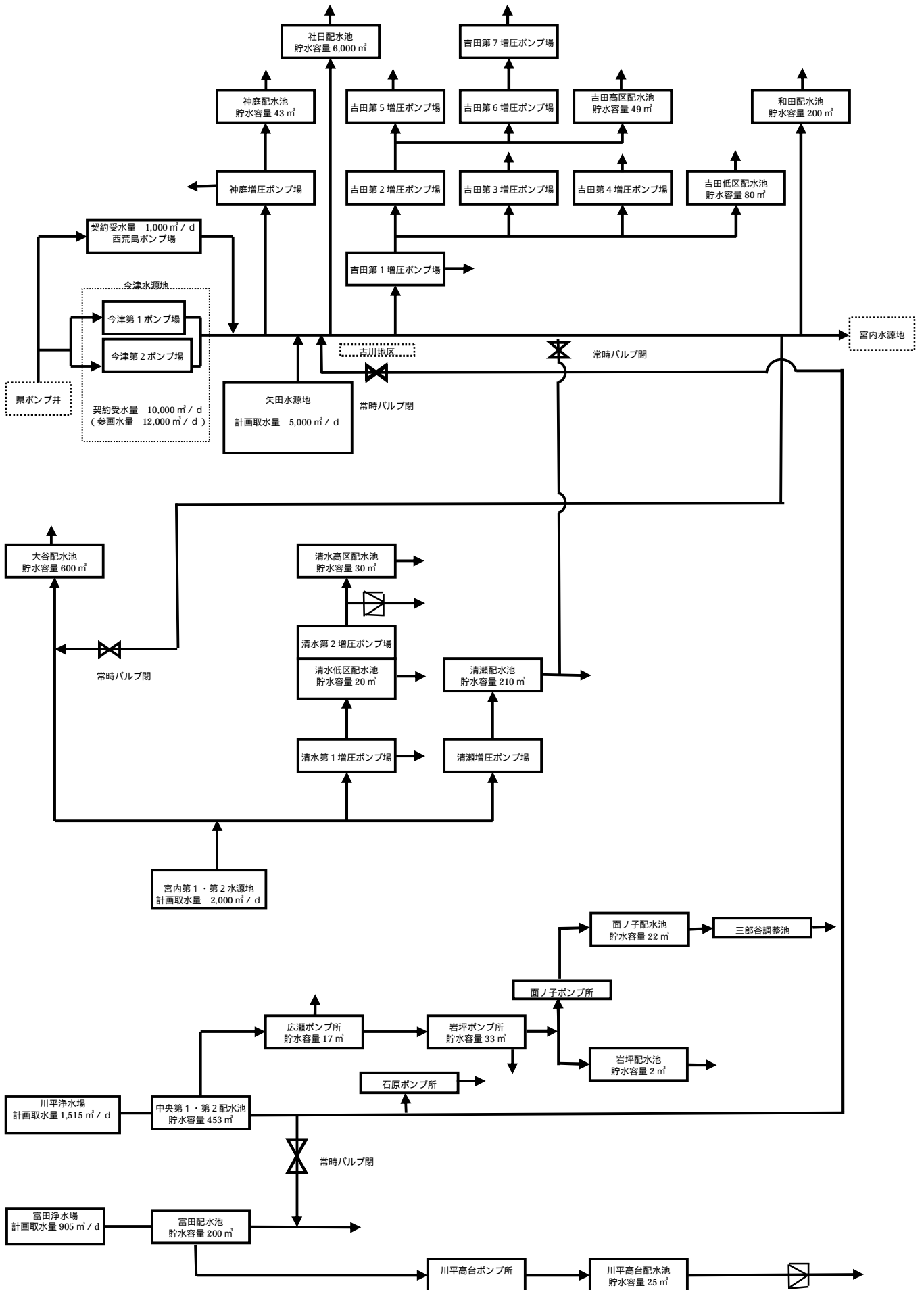
矢田・宮内水源は現状を維持していくための最低限の修繕を要します。川平・富田水源は現在継続中の除マンガン設備事業の早期完工を図り、2水源の一体化により、UF膜ろ過の安定稼働と水質向上の推進をしていかなければなりません。

配水管においても、現在進捗中の石綿管・鉛給水管の更新はもとより、鋳鉄管・塩化ビニール管も耐用年限を経過している路線も増加してきており、これらの更新も図っていく必要があります。

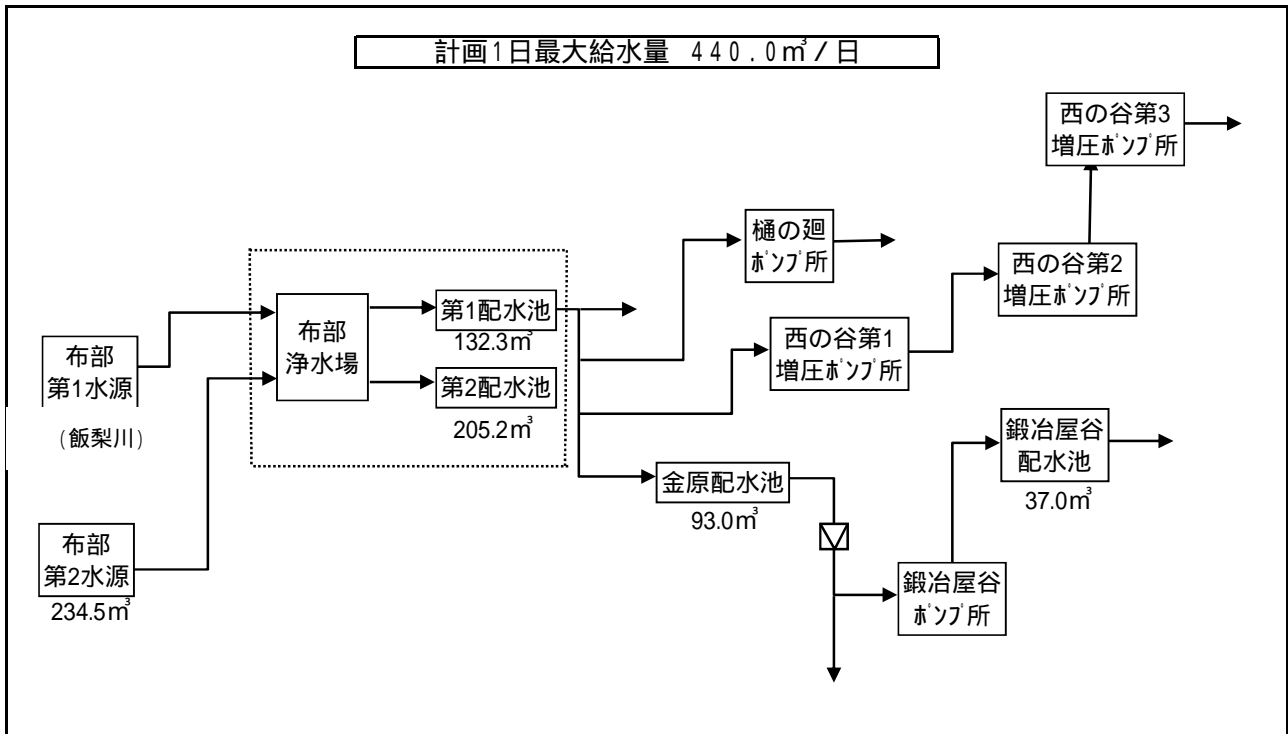
また、今後益々施設における維持管理の要となる電気計装設備も更新時期に達しており、整備充実を図っていかねばなりません。

【上水道施設フロー図】

計画1日最大給水量 21,600 m³/日



布部簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は、飯梨川の表流水と浅井戸による地下水を取水しています。計画取水量は、434.5 m³/日で、平成20年度の日最大取水量は431 m³でした。

(2) 浄水送水施設

布部浄水場には、原水濾過用に凝集沈殿ろ過装置が1基、緩速ろ過池（3池）と上向性ろ過池（3池）、FRP製の上向性ろ過池（2池）、塩素滅菌機を設置しています。

(3) 配水施設

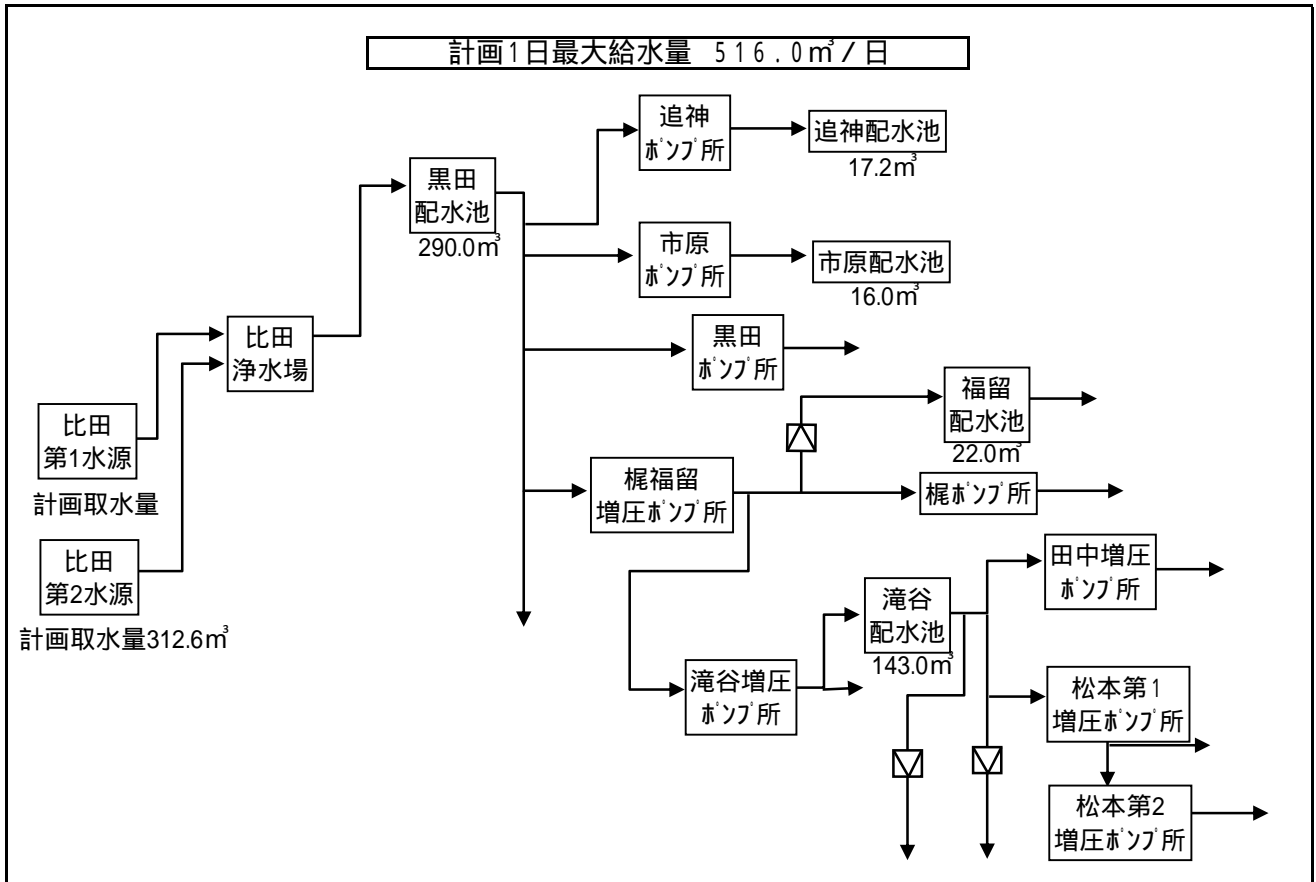
配水池は3カ所あり、総貯水容量467.5 m³です。布部浄水場内の第1・第2配水池から金原配水池へ直接配水し、鍛冶屋谷配水池へは、鍛冶屋谷ポンプ所経由で送水しています。

また、西の谷地区には、受水槽付きの増圧ポンプを3カ所により順次高所へ給水し、平成20年度の日最大給水量は413 m³でした。

(4) 施設整備上の課題

布部簡易水道施設は、昭和45年創設し、未だ各施設において、当初の施設を稼動しており、機械機具の老朽化・管破損や漏水が著しく、有収率も低い、将来の統合（上水道）も考慮し、新たな整備事業に取り組むための基本計画を進めており、平成22年度より補助事業にて第5次整備事業に着手する予定です。

比田簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は、飯梨川の伏流水（第1水源）と浅井戸（第2水源）による地下水を取水しています。計画取水量は、567.6 m³/日で、平成20年度の日最大取水量は402 m³でした。

(2) 浄水送水施設

西比田浄水場では、緩速ろ過池（3池）と上向性ろ過池（3池）により浄化し、塩素滅菌後、送水ポンプにて黒田配水池に送水しています。

(3) 配水施設

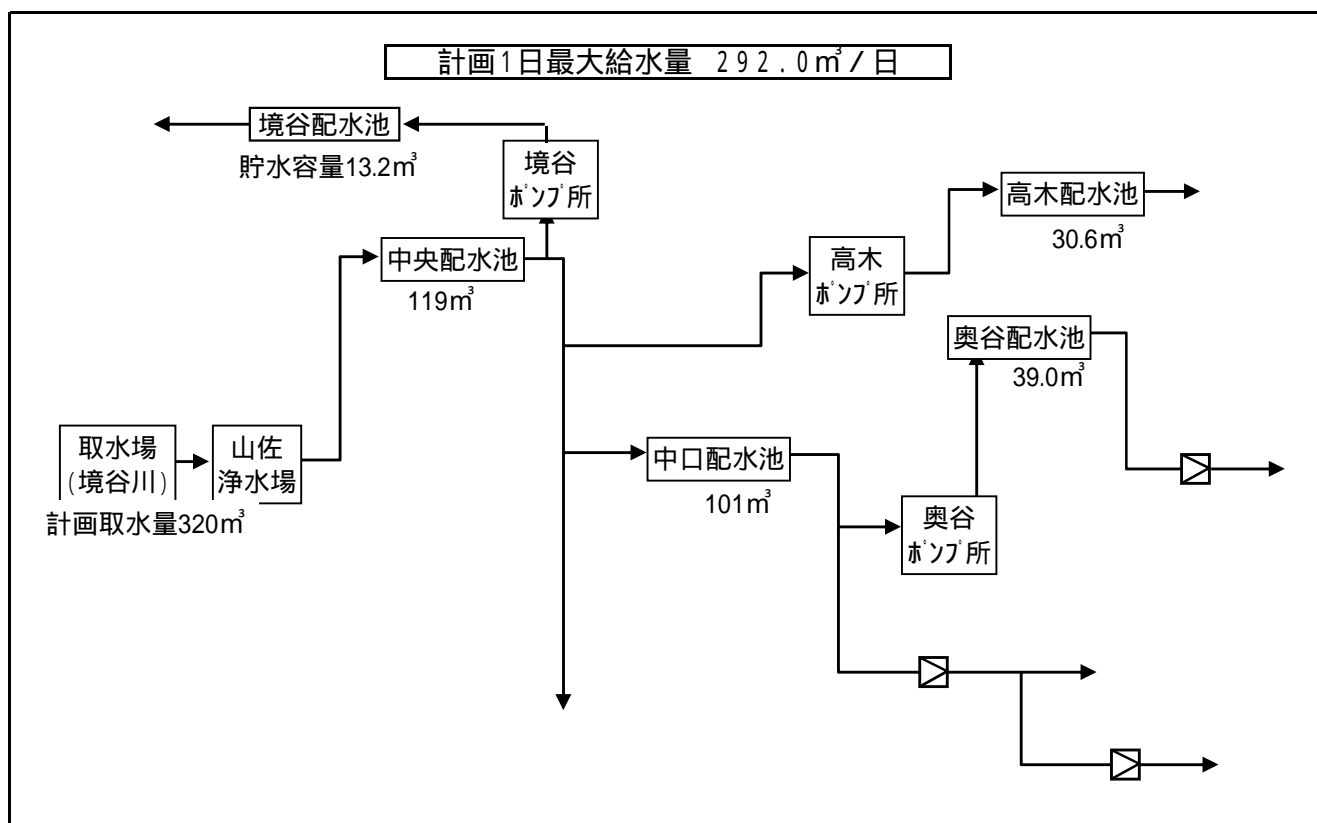
配水池は5カ所あり、総貯水容量488.2 m³です。黒田配水池から比田地区全域に向け配水し、以降西比田地区は、ポンプ所が3カ所あり、別に配水池が2カ所あります。梶福留地区には、ポンプ所が2カ所あり、調圧を兼ねた福留配水池があります。また、東比田地区は、送水のため中継ポンプとして滝谷増圧ポンプ所、滝谷配水池があります。滝谷増圧ポンプ所では、追加滅菌も行っています。そして、東比田高所地区である田中・松本地区に増圧ポンプ所が3カ所あり、平成20年度の日最大給水量は348 m³でした。

福留配水池、湯田山荘方面、道城地区への水圧調整として、計3カ所の減圧弁が設置し

(4) 施設整備上の課題

管路更新として創設時から共用している市原・追神・町地域の整備を要する。

山佐簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は、境谷川の伏流水を接合井で受け取水しています。計画取水量は、 $320\text{ m}^3/\text{日}$ で、平成20年度の日最大取水量は 398 m^3 でした。

(2) 浄水送水施設

山佐浄水場には、緩速ろ過池(3池)があり、塩素滅菌後、送水ポンプにて、山佐中央配水池に送水しています。

(3) 配水施設

配水池は5カ所あり、総貯水容量 303.2 m^3 です。中央配水池から中口配水池へ直接配水し、境谷・高木・奥谷配水池へは、それぞれ境谷・高木・奥谷ポンプ所経由で送水し、平成20年度の日最大給水量は 362 m^3 でした。

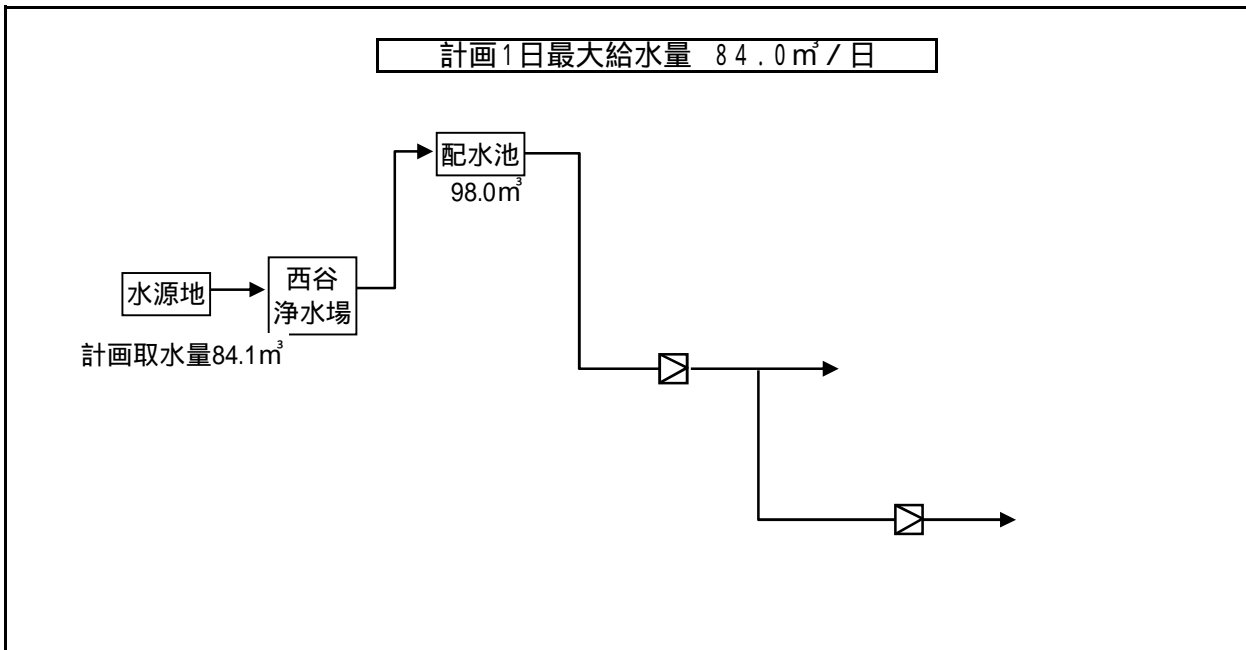
水圧調整として、紙屋谷、下山佐、福頼団地に合計3カ所減圧弁を設けてあります。

(4) 施設整備上の課題

山佐簡易水道給水区域において、水道使用量等の増並びに老朽化による、管破損事故等多発し、有収率も悪化傾向にあり、施設改良の必要が考えられるが、一部上水道との統合(接合)も検討していく必要がある。

取水方法については、近年降雨時における河川露床の目詰まりにより接合井への流

西谷簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は、浄水場付近の湧き水を沈砂池で受け取水しています。計画取水量は、84.1 m³/日、平成20年度の日最大取水量は69 m³でした。

(2) 浄水送水施設

西谷浄水場にて、PH調整（エアレーション）を行い塩素滅菌後送水ポンプにて、配水池に送水しています。

(3) 配水施設

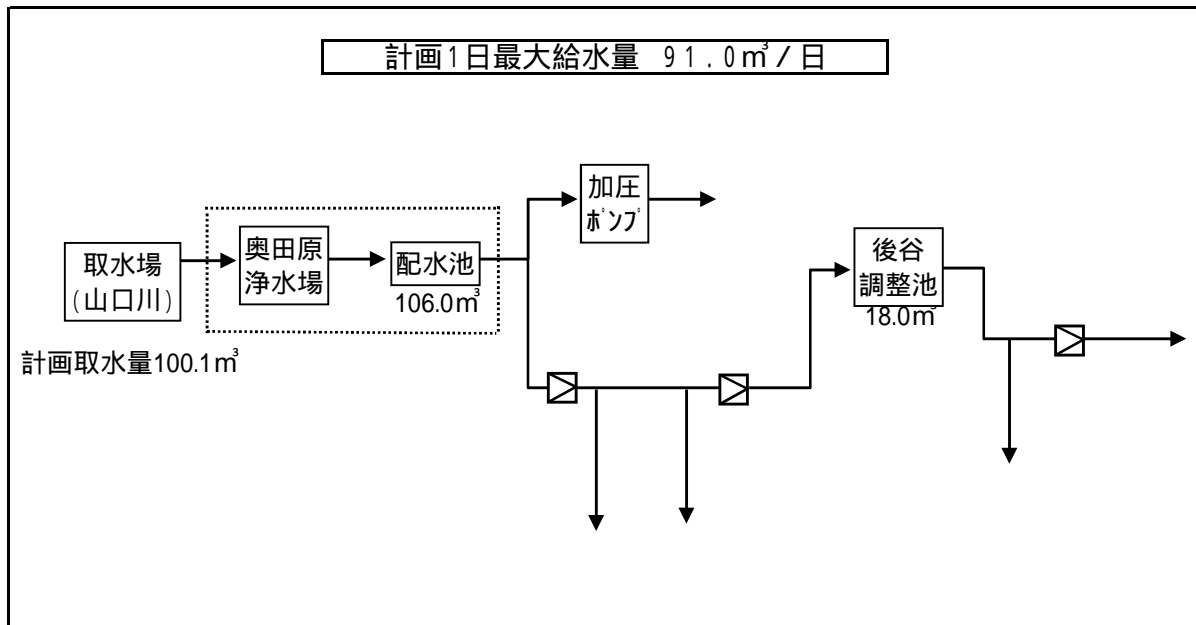
配水池は1カ所で、貯水容量98.0 m³です。配水池から西谷地区の受水区域へ配水し、平成20年度の日最大給水量は68 m³でした。

水圧調整として、西谷本郷、西谷浄水場付近に減圧弁が計2カ所設けてありま

(4) 施設整備上の課題

浄水方法が、消毒のみであり、クリプトスポリジウム対策が必要とされるが、今後の水質状況を考察しながら、ろ過施設又は紫外線処理施設の検討も要する。

奥田原簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は、治山事業によるダムから、表流水を取水して浄水場まで導水しています。計画取水量は、100.1 m³/日、平成20年度の日最大取水量は61 m³で

(2) 浄水送水施設

奥田原浄水場では、凝集沈殿ろ過装置で前処理し、急速ろ過装置を経て、塩素滅菌後、場内にある配水池に貯水しています。

(3) 配水施設

配水池は1カ所で、貯水容量106.0 m³です。浄水場内に設置した配水池から奥田原地区へ配水し、平成20年度の日最大給水量は54 m³でした。

水圧調整のため、後谷調整池があり、追加滅菌も行っています。

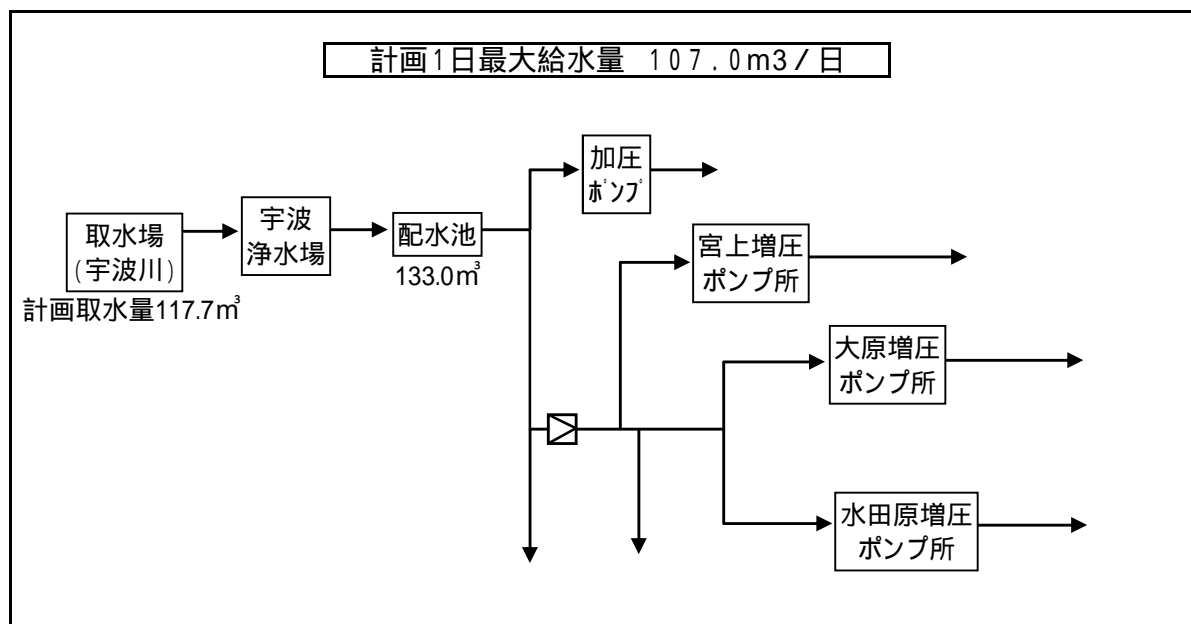
また、山口に1カ所、本郷に1カ所、新田に1カ所、計3カ所の減圧弁を設

(4) 施設整備上の課題

減圧弁が多数設置してあり、圧力調整等、今後の計画的な維持管理が必要です。

取水場のダム表流水の導水管が堰堤頂部をまたがるサイホン式配管となって

宇波簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は、治山事業による水源ダムから、表流水を取水して浄水場まで導水しています。計画取水量は、117.7m³/日、平成20年度の日最大取水量は81m³で

(2) 浄水送水施設

宇波浄水場では、凝集沈殿ろ過装置で前処理し、急速ろ過装置を経て、塩素滅菌後、場内にある配水池に貯水しています。

(3) 配水施設

配水池は1カ所で、貯水容量133.0m³です。浄水場内に設置した、配水池から宇波地区へ配水し、平成20年度の日最大給水量は70m³でした。

地形形状谷あいの地区が点在しており、それぞれの高所地域へは、ポンプ増圧により配給水しています。

(4) 施設整備上の課題

給水区域内において、高水圧がかかる場所があるため、配水・給水管への負担が大きく、水圧調整に配慮し、管・機器の損耗に対する維持管理を要する。

伯太簡易水道

施設区域：伯太町 赤屋・井尻・母里・安田地内

施設フロー 図(次ページ)

(1) 取水導水施設

水源は原代系で3カ所の浅井戸と1カ所の河川伏流水により、計画取水量 $2,158\text{m}^3/\text{日}$ を取水し、下十年畑系は1カ所の河川伏流水により、計画取水量 $343\text{m}^3/\text{日}$ で合計 $2,501\text{m}^3/\text{日}$ です。平成20年度の日最大取水量は原代浄水場が $1,631\text{m}^3$ 、下十年畑浄水場が 394m^3 で合計 $2,025\text{m}^3$ でした。

(2) 浄水送水施設

原代浄水場は遊離炭酸除去のためのエアレーション設備があり、原水にエア曝気処理後、塩素滅菌し原代配水池へ送水しています。

下十年畑浄水場は緩速ろ過池(3池)が設置され、塩素滅菌後、下十年畑配水池へ送水していません。

(3) 配水施設

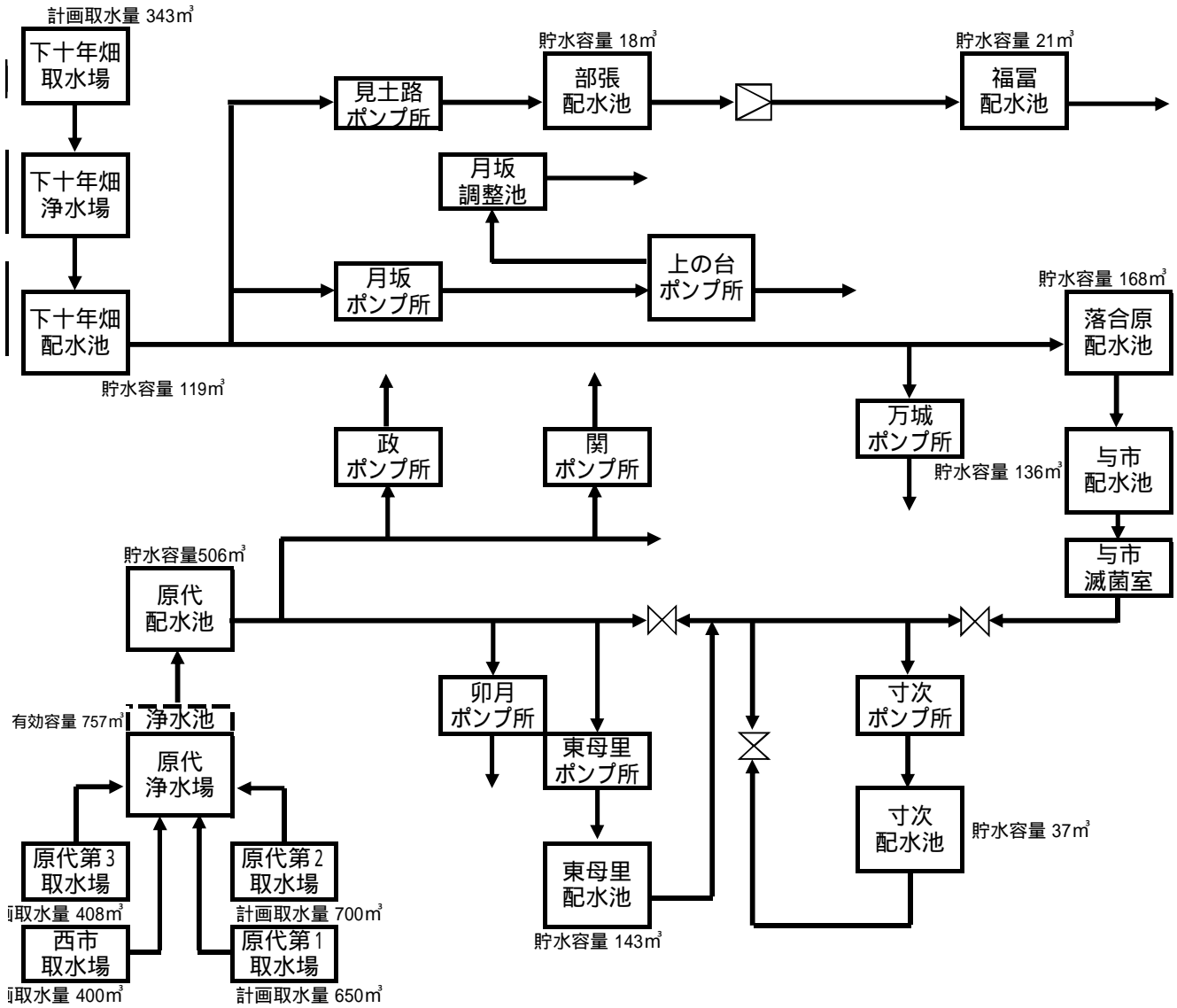
配水池は原代系で3池(原代・東母里・寸次)、下十年畑系で5池(下十年畑・落合原・与市・部張・福富)あり、総貯水容量は $1,138\text{m}^3$ で、平成20年度の日最大給水量 $1,601\text{m}^3$ でした。この他に中継ポンプ所が5カ所(東母里・寸次・卯月・見土路・月坂)、増圧ポンプ所が4カ所(政・関・万城・上の台)、追加滅菌施設が4カ所(寸次・与市・福富・上の台)あります。

(4) 施設整備上の課題

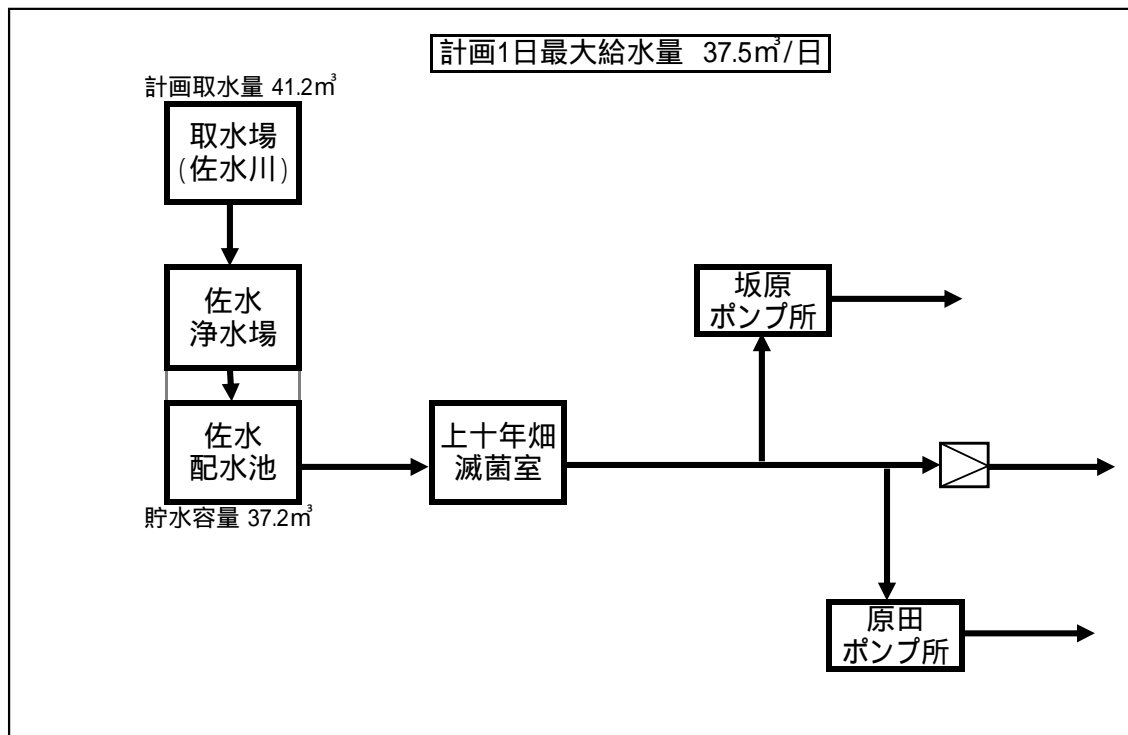
原代第1水源のマンガン含有量が、増加傾向にあり、配水系統に濁りを発生しつつあるので、検討を要する。

【伯太簡易水道施設フロー図】

計画1日最大給水量 2,100m³/日



上十年畑簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は佐水川の表流水を取水しています。計画取水量は41.2m³/日で平成20年度の日最大取水量は49m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は緩速ろ過池(2池)により浄化し、場内の配水池へ送っています。

配水池下流に滅菌室を設置し、配水流量を計測し、流量に応じ塩素を注入しています。

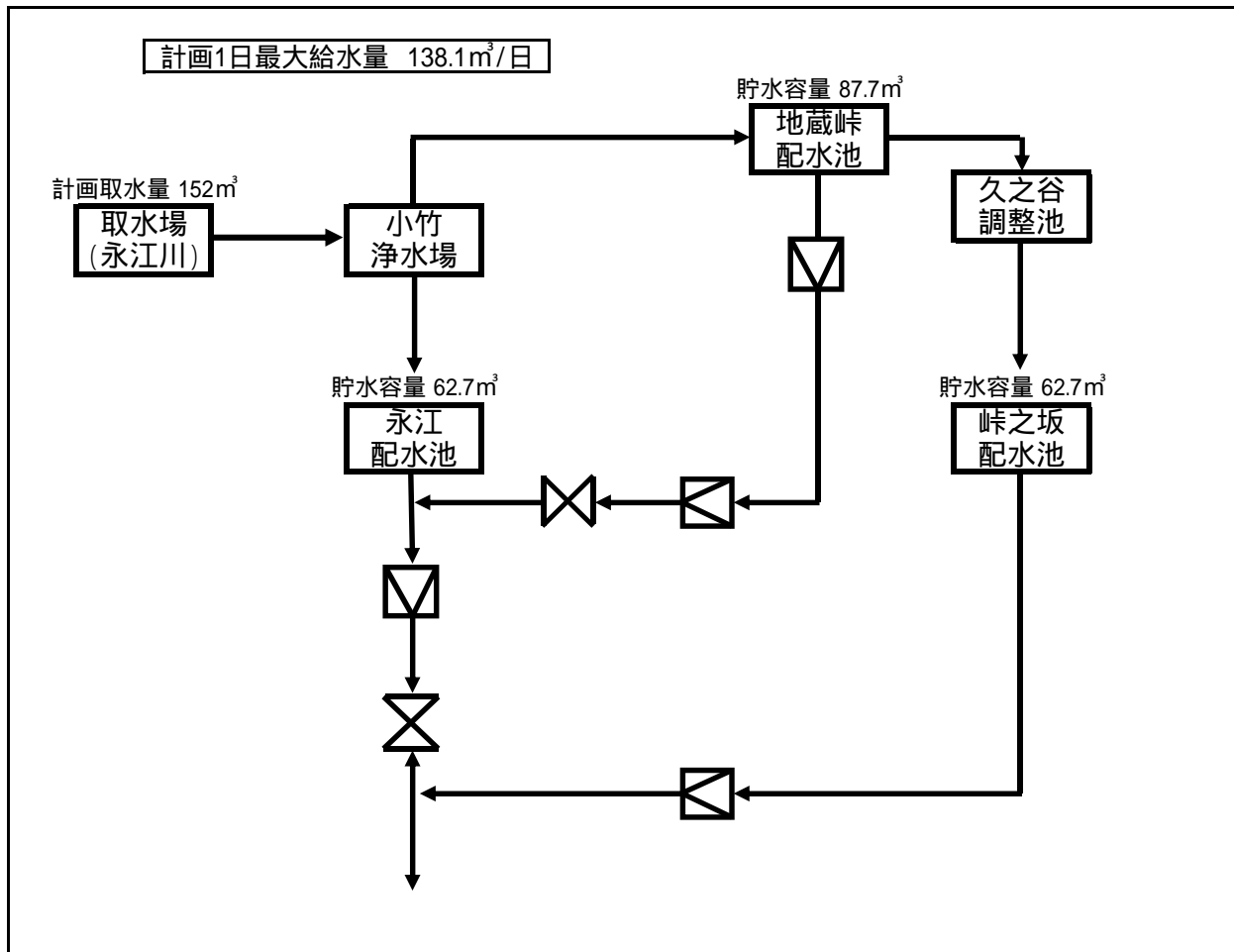
(3) 配水施設

配水池は浄水場内に1池あり、貯水容量は37.2m³で、平成20年度の日最大給水量は44m³でした。この他に増圧ポンプ所が2カ所あります。減圧弁は1カ所に設置しています。

(4) 施設整備上の課題

創設後、未だ拡張整備を行っていない、計画水量の超過や、施設老朽化が進んでおり、水量拡張を含めた更新整備を必要とする。

小竹簡易水道



(1) 取水導水施設

水源は永江川に設置された背面取水装置（スクリーン）により表流水を取水し沈殿池を設けています。計画取水量は152m³/日で、平成20年度の日最大取水量は121m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は前処理ろ過設備（上向流式連続移動床ろ過）及び膜ろ過設備が設置してあり、塩素滅菌後、浄水場内の送水施設により、地蔵峠配水池へ送水しています。

(3) 配水施設

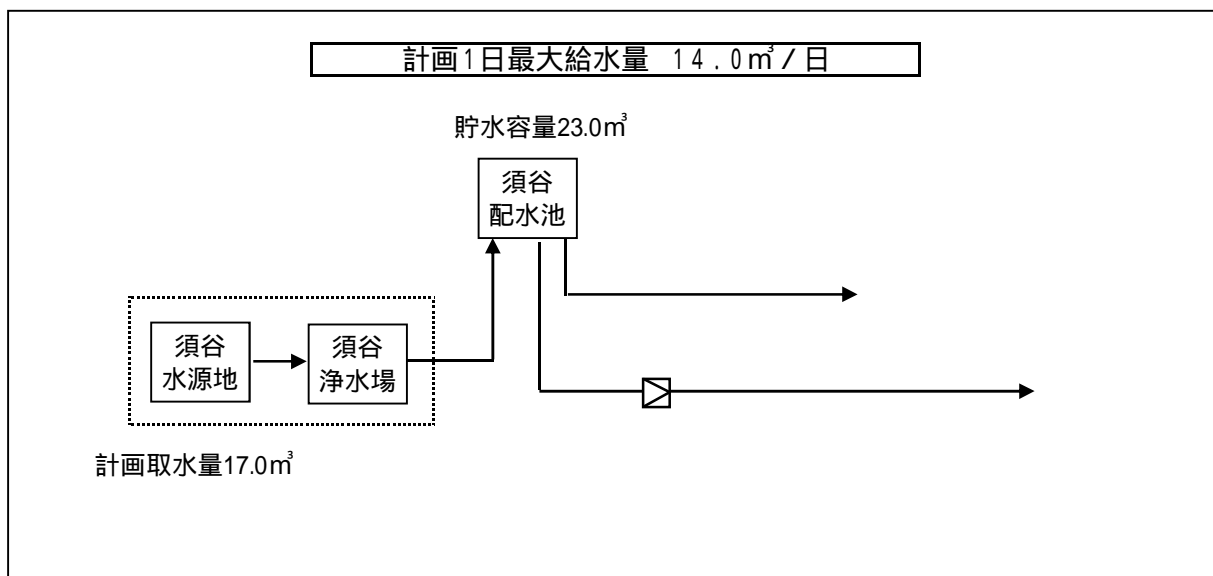
配水池は3ヶ所（地蔵峠、峠之坂、永江）あり、総貯水容量は213.1m³で、平成20年度の日最大給水量は97m³でした。減圧施設は調整池（久之谷）が1ヶ所、減圧弁を4ヶ所に設置しています。

(4) 施設整備上の課題

膜ろ過施設の浄水能力が1日（24時間）対応計画量であり、時間処理能力が6.3m³/hであるため、事故等緊急時の大量供給に対応できない。また、地蔵峠配水池は2系統に配水をしているが、配水流量計が1基しか設置されていないため、一定区域の流量測定把握に支障をきたしている。

須谷飲料水供給施設

所在地： 広瀬町下山佐地内



(1) 取水導水施設

水源は地下水で浅井戸により取水しています。計画取水量は17 m³/日で、平成20年度の日最大取水量15 m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は塩素滅菌施設のみで、須谷浄水場から須谷配水池へポンプにより送水しています。

(3) 配水施設

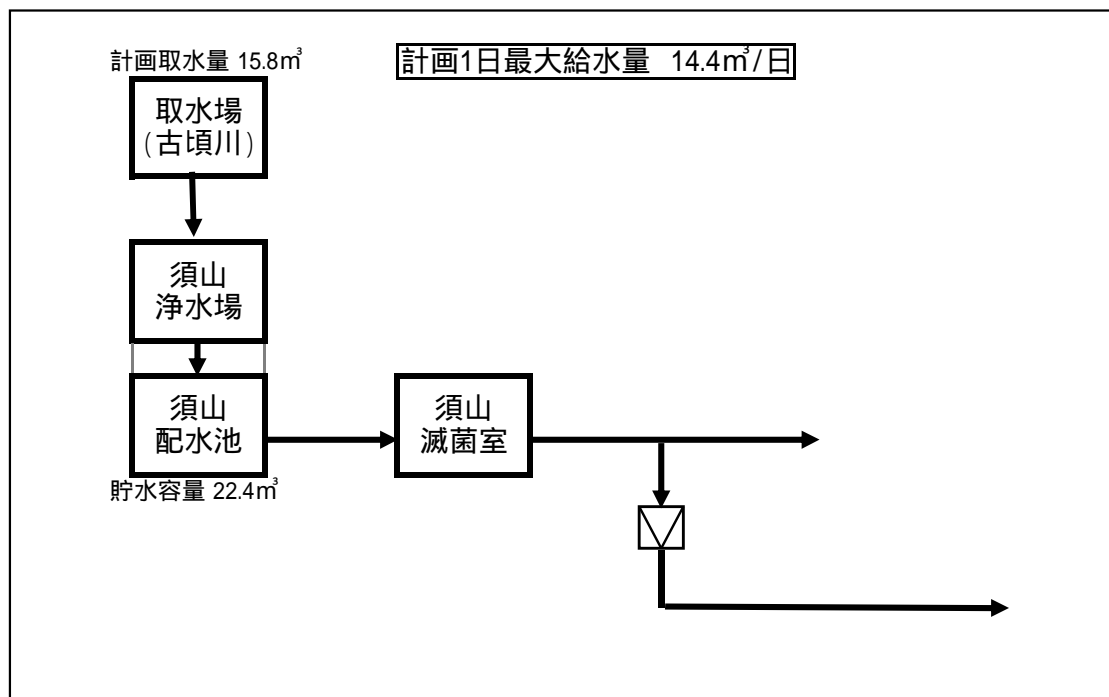
配水池は1カ所あり、貯水容量は23 m³で、平成20年度の日最大給水量は14 m³でした。

(4) 施設整備上の課題

特になし。

須山飲料水供給施設

所在地：伯太町井尻地内



(1) 取水導水施設

水源は古頃川の伏流水を取水しています。計画取水量は15.8m³/日で、平成20年度の日最大取水量は29m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は緩速ろ過池（2池）により浄化し、場内の配水池へ送っています。

配水池下流に滅菌室を設置し、配水流量を計測し、流量に応じ塩素を注入しています。

(3) 配水施設

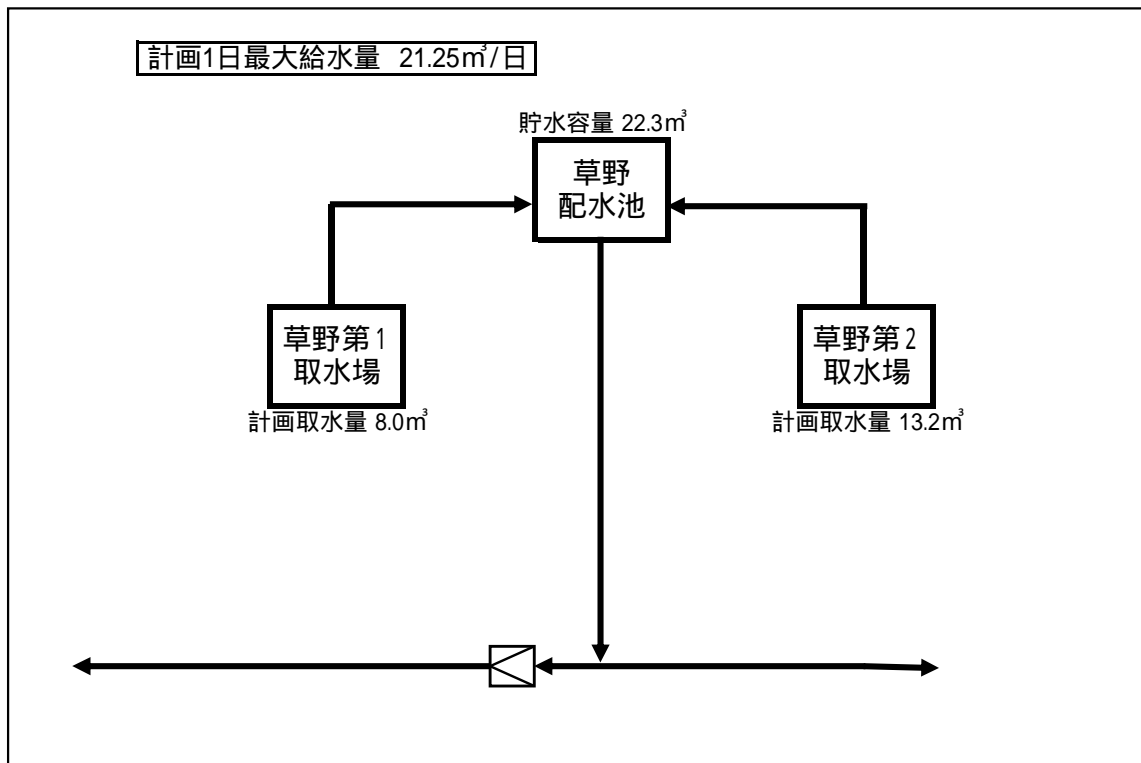
配水池は浄水場に1池あり、貯水容量は22.4m³で、平成20年度の日最大給水量は23m³でした。減圧弁を1カ所設置しています。

(4) 施設整備上の課題

取水施設の河川床の集水埋渠が目詰まりをするため被覆碎石の入れ替えをする必要がある。

草野飲料水供給施設

所在地：伯太町赤屋地内



(1) 取水導水施設

水源は地下水で深井戸2カ所により取水しています。計画取水量は第1取水場が8.0m³/日、第2取水場が13.2m³/日で合計21.2m³/日です。平成20年度の日最大取水量は31m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は塩素滅菌施設のみです。各取水場から滅菌の後、草野配水池へ送水しています。

(3) 配水施設

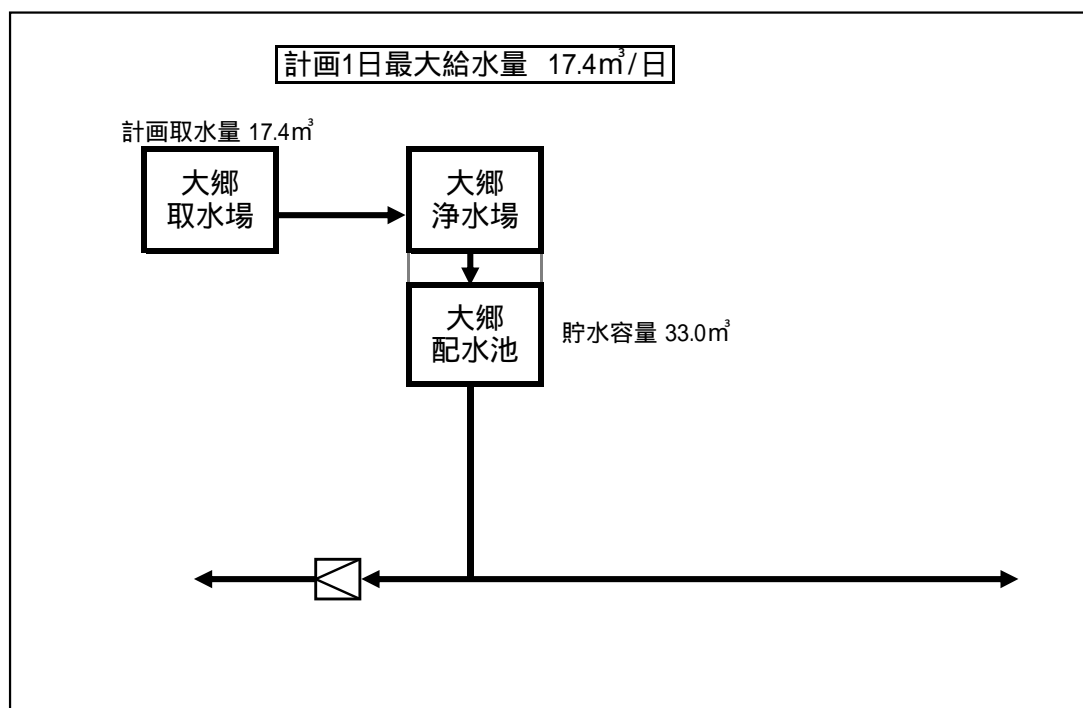
配水池は1カ所あり、貯水容量は22.3m³で、平成20年度の日最大給水量は33m³でした。水圧調整のため減圧弁を1カ所設置しています。

(4) 施設整備上の課題

特になし。

大郷飲料水供給施設

所在地：伯太町井尻(峠之内)地内



(1) 取水導水施設

水源は地下水で深井戸により取水しています。計画取水量は17.4m³/日で、平成20年度の日最大取水量は11m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は除マンガンろ過機1基と塩素滅菌機があります。

(3) 配水施設

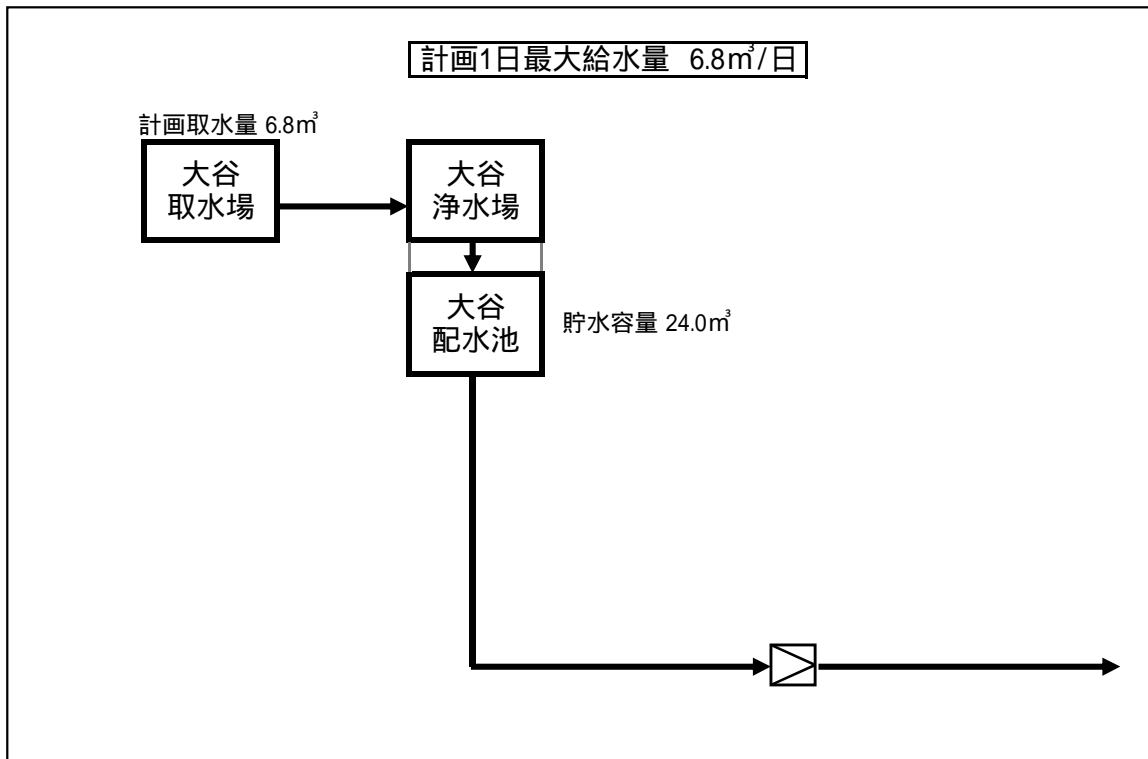
配水池は浄水場に1池あり、貯水容量は33.0m³で、平成20年度の日最大給水量は11m³でした。水圧調整のため減圧弁を1ヵ所設置しています。

(4) 施設整備上の課題

特に無し

大谷飲料水供給施設

所在地： 伯太町赤屋(下十年畑)地内



(1) 取水導水施設

水源は地下水で深井戸により取水しています。計画取水量は6.8m³/日で、平成20年度の日最大取水量は6m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は塩素滅菌施設のみです。

(3) 配水施設

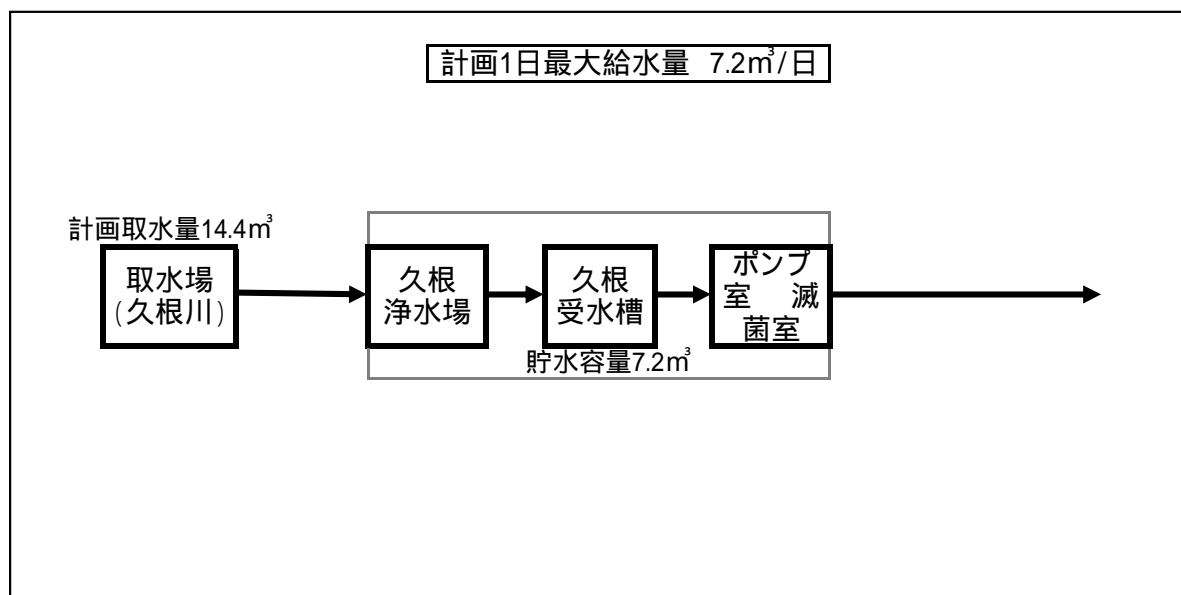
配水池は浄水場に1基あり、貯水容量は24.0m³で、平成20年度の日最大給水量は4m³でした。水圧調整のため減圧弁を1ヵ所設置しています。

(4) 施設整備上の課題

供用開始時に比べて給水人口が極端に減少し、効果・効率の悪い施設となっている。今後は水道利用者の推移(人口・区域)を考慮し伯太簡易水道との統合も検討する必要がある。

久根簡易給水施設

所在地：伯太町赤屋(上小竹)地内



(1) 取水導水施設

水源は地下水で伏流水により取水しています。計画取水量は14.4m³/日で、平成20年度の日最大取水量は10m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は緩速ろ過池(2池)と、塩素滅菌機があります。

(3) 配水施設

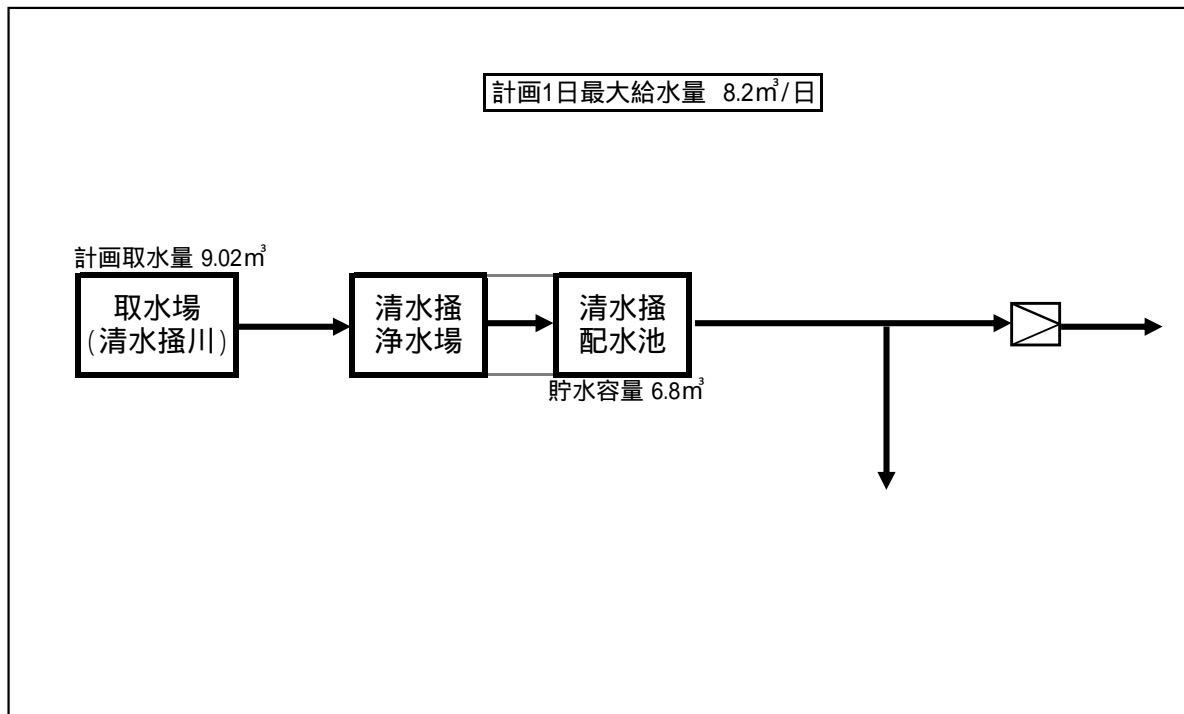
ろ過池からの浄水は受水槽に送られ圧力ポンプにて配水しています。貯水容量は7.2m³で、平成20年度の日最大給水量は9m³でした。

(4) 施設整備上の課題

集水埋渠から浄水場まで約300m程度の導水管が布設されているが経年使用により管内に堆積物が付着し、目詰まり傾向にある。安定した取水ができる様、取水施設の改良が必要である。

清水掻簡易給水施設

所在地：伯太町井尻(横屋)地内



(1) 取水導水施設

水源は清水掻川の伏流水を取水しています。計画取水量は9.02m³/日で、平成20年度の日最大取水量は7m³でした。

(2) 浄水送水施設

浄水施設は緩速ろ過池(2池)と、塩素滅菌機があります。

(3) 配水施設

配水池は浄水場に1池あり、貯水容量は6.8m³で、平成20年度の日最大給水量は6m³でした。

(4) 施設整備上の課題

取水施設の河川水に黒ボクと称される火山灰土(微粒子の黒砂)が多く含まれている上、原水には鉄バクテリアが多く発生し集水埋渠の目詰まりや、取水井・導水管への付着沈殿し、着水井への流水不足を発生させる原因となっている。

2. 上水道事業の経緯

旧安来市

事業	認可年月	竣工年月	計画給水人口 (人)	計画1日 最大給水量 ($\text{m}^3/\text{日}$)	事業費 (千円)	備考
創設	昭和8年6月	昭和9年9月	7,140	1,080	44	旧安来町を給水地域として、安来市宮内町に伯太川の伏流水を水源とし、社日山に 330m^3 の配水池を設置。 第2水源井新設(S24年3月)
第1次 拡張 事業	昭和28年 12月	昭和31年 3月	11,000	2,300	15,833	宮内水源地に除鉄緩速ろ過池を2池新設し、送配水管の延長を図る
第2次 拡張 事業	昭和35年 12月	昭和38年 11月	18,500	5,500	70,973	矢田水源地を新設。配水管21,600mを布設し、能義、切川、東赤江地区へ給水開始
第3次 拡張 事業	昭和44年 4月	昭和44年 7月	16,000	7,200	25,000	矢田水源地及び宮内第2水源地内に、それぞれ口径75mmの削井4本、送水ポンプ1台、社日山にPC配水池(有効容量: $1,500\text{m}^3$)を増設
第4次 拡張 事業	昭和45年 4月	昭和46年 3月	17,300	7,200	21,400	宇賀荘・清水簡易水道地区の水量不足により、上水道に統合。宮内第1水源地、宇賀荘町まで配水管4,781mを布設
第5次 拡張 事業	昭和46年 4月	昭和53年 3月	26,500	12,000	354,122	S46年度：島田・大塚の未給水地区へ給水開始。 S47年度：県営飯梨川布部ダム用水受水のため、今津水源地に受送水設備を完備。大塚私設簡易水道を上水道に統合。 S48年度：西部簡易水道拡張事業により、久白町、田頼町、津田平地内に送水開始。 S49年度：配水管の増設により、水不足地域の折坂、柿谷、

						<p>植田、神庭、岩舟地内へ給水開始。</p> <p>S 51 年度：島田町大添地内に P C 配水池(有効容量：600 m³)を新設。</p> <p>S 52 年度：社日山に P C 角型配水池(有効容量：2,000 m³)を増設。清水山内水圧低下解消のため増圧施設を設置</p>
第6次 拡張 事業	昭和 54 年 4 月	平成 3 年 3 月	38,925	19,400	2,540,700	<p>S 55 年度：県営山佐川総合開発事業の完成に伴い、受水量 7,000 m³/日の受送水施設、各水源増圧、配水施設を集中管理できる水道管理本館を建設。</p> <p>S 57 年度：県用水の供給を受ける今津水源地より社日配水池に直送する配水管を 689m 布設。</p> <p>S 62 年度：社日配水池増築工事を行い、貯水能力 2,500 m³の配水池整備。既設タンクと併せて、6,000 m³となる。H 元年度：矢田水源地浄水設備及び電気計装設備工事を行った。</p> <p>S 57・S 58 年度：吉田地区無水源簡易水道事業を行い、未給水地区が解消された。</p>

旧広瀬町

事業	認可年月	竣工年月	計画給 水人口 (人)	計画 1 日 最大給水 量(m ³ /日)	事業費 (千円)	備 考

創設	昭和 32 年 12 月	昭和 34 年 3 月	4,600	750	19,400	飯梨川の伏流水を水源とし、広瀬町一円及び石原を給水区域に定め、給水戸数約 1 千戸で S32 年 12 月に事業着手
第 1 次 拡張 事業	昭和 44 年 4 月	昭和 45 年 3 月	4,600	1,470	13,200	町勢の進展、夏季ピーク時の水圧低下改善、病院、学校の改築並びにプール用水、一般住宅の増築に伴い、拡張工事を実施
第 2 次 拡張 事業	昭和 49 年 1 月	昭和 49 年 3 月	4,600	1,470	7,943	石原・町帳地区における住宅建築の急増対策として、配水管の延長工事を実施
第 3 次 拡張 事業	昭和 51 年 12 月	昭和 52 年 9 月	5,200	2,040	101,610	広瀬病院の改築、県立特別養護老人ホーム（月照園）自然休養村管理センター（富田山荘）等、水の大口需要が伸び、さらに富田・菅原地区内一部未普及地区への給水計画に基づき、拡張工事を実施
第 4 次 拡張 事業	昭和 55 年 7 月	昭和 56 年 12 月	5,200	2,040	168,312	無水源地区簡易水道事業として、連絡管を広瀬給水区域から布設し、独自の水源の無い祖父谷丘陵地域へ配水。上水道認可（S55 年 4 月 1 日）
第 5 次 拡張 事業	昭和 58 年 4 月	昭和 59 年 3 月	5,200	2,040	56,810	富田水源を利用し、川平地区への拡張工事を実施
老 朽 管 更 新 事 業	平成 4 年 8 月	平成 8 年 3 月	5,200	2,040	115,000	川平配水池から石原までの区間 2,400m をバイパス管として施工
川 平 浄 水 場 整 備 事 業	平成 13 年 3 月	平成 15 年 5 月	5,200	2,200	535,500	H13 年度：浄水場改良工事 H14 年度：高度浄水処理施設（膜ろ過浄水施設）整備

3. 水道料金の推移

平成 21 年度の水道料金 統一料金 2 ヶ月分 (平成 16 年 10 月 ~)

基本料金 (~ 16 m³) (消費税込)

口 径	料 金
13mm	2,100 円
20mm	2,835 円
25mm	4,620 円
30mm	6,615 円
40mm	14,175 円
50mm	21,000 円
75mm	52,500 円
100mm	89,250 円

超過料金 (基本料金の 16 m³を超える部分) (消費税込)

~ 30 m ³	128.1 円
~ 40 m ³	133.35 円
~ 80 m ³	152.25 円
~ 200 m ³	170.1 円
~ 1,000 m ³	175.35 円
1,000 m ³ 超	179.55 円

旧広瀬町 水道料金 (~平成 16 年 10 月)比較のため 2 ヶ月分 (消費税込み)

基本料金

用途	基本料金内使用量	広瀬・布部地区	左記以外の地区
一般用	~ 16 m ³	2,520 円	3,570 円
事業用	~ 40 m ³	4,200 円	12,180 円
官公署	~ 40 m ³	5,040 円	13,020 円
学校病院	~ 100 m ³	12,600 円	29,400 円
特殊	~ 20 m ³	4,200 円	10,311 円

超過料金 (基本料金の使用量を超える部分)

用途	超過料金使用量	広瀬・布部地区	左記以外の地区
一般用	16 m ³ ~	294 円	336 円
事業用	40 m ³ ~	420 円	525 円
官公署	40 m ³ ~	504 円	609 円
学校病院	100 m ³ ~	714 円	714 円
特殊	20 m ³ ~	714 円	714 円

メーター使用料

口 径	料 金
13mm	231 円
20mm	294 円
25mm	294 円
30mm	1,848 円
40mm	1,848 円
50mm	1,848 円
75mm	4,620 円
100mm	4,620 円

旧伯太町 水道料金 (~平成 16 年 10 月)比較のため 2 ヶ月分 (消費税込み)

基本料金

用途	口径	基本料金内使用量	料金
一般用	13 ~ 20mm	~ 12 m ³	3,528 円
営業用	13 ~ 20mm	~ 12 m ³	3,528 円
	25 ~ 75mm	~ 100 m ³	19,425 円
学校等施設用	13 ~ 20mm	~ 12 m ³	3,528 円
	25 ~ 75mm	~ 100 m ³	19,425 円
娯楽鑑賞用	使用量 1 m ³ につき 588 円		
臨時用	使用量 1 m ³ につき 588 円		

超過料金 (基本料金の使用量を超える部分)

用途	口径 mm	~ 40 m ³	41 ~ 100 m ³	101 ~ 800 m ³	801 ~ 2,000 m ³	2,001 m ³ 超
一般用	13 ~ 20	199.5 円	210 円	361.2 円	504 円	378 円
営業用	13 ~ 20	199.5 円	210 円	361.2 円	504 円	378 円
	25 ~ 75	-	-	361.2 円	504 円	378 円
学校等 施設用	13 ~ 20	199.5 円	210 円	361.2 円	504 円	378 円
	25 ~ 75	-	-	361.2 円	504 円	378 円

メーター使用料

口径	料金
13mm	147 円
20mm	283.5 円
25mm	294 円
40mm	567 円
50mm	2,436 円
75mm	4,578 円

4. 水道事業施設整備計画

上水道事業施設整備計画

施設	地区名	事業内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
上	宮内第1水源地	取水ポンプ更新			取水ポンプ更新								
	宮内第2水源地	送水ポンプ更新、外構整備		取水ポンプ更新		外構整備							
	矢田水源地	送水ポンプ、建物改修、発電機外、取水ポンプ	周辺整備	建物外壁塗装	送水ポンプ更新 改良設計業務	建物改修	自家用 発電機外		取水ポンプ				
	今津水源地	発電機、送水ポンプ、中央監視システム				改良設計業務	自家用 発電機外	送水ポンプ	中央監視システム				
	社日配水池	屋根修繕		屋根防水塗装									
水	西荒島ポンプ場	送水ポンプ更新、外構整備			送水ポンプ更新					滅菌機更新			
	吉田増圧ポンプ場	加圧ポンプ				加圧ポンプ更新			加圧ポンプ更新				加圧ポンプ更新
	吉佐増圧ポンプ場	ラインポンプ				ラインポンプ更新							
	清水増圧ポンプ場	送水ポンプ				送水ポンプ更新							
	神庭増圧ポンプ場	送水ポンプ							送水ポンプ更新				
道	広瀬地区水源開発 川平・富田浄水場	導・送水管布設、除鉄・除マンガンを過施設	除マンガン施設1号機	導水・送水管整備 除マンガン施設2号機									
	安来地区	配水管改良(石綿管更新)	石綿セメント管			石綿セメント管			鑄鉄管 外				
		配水管改良(経年管・水量増・移設)	配水管改良										

財源事業区分

- 国庫補助
- 起 債
- 一般単独

簡易水道事業施設整備計画

施設	地区名	事業内容	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
簡易水道等	須山飲供	濁度計設置、取水施設改良	濁度計設置				取水施設改良					配水管改良	
	久根飲供	取水施設改良、圧力タンク改良				取水施設改良 圧力タンク改良							配水管改良
	清水播簡給	取水施設改良			取水施設改良								
	上十年畑簡水	坂原増圧ポンプ所、取水浄水施設改良 配水管改良、ポンプ所改良	第2ポンプ所 設置				基本設計業務	基幹施設・配水管改良					
	伯太簡水 (下十年畑系)	取水施設改良、配水管改良				配水管改良 (福富)			下十年畑 水源改良				
	伯太簡水 (原代系)	第2取水ポンプ更新、配水管改良	第2取水ポンプ 更新					配水管改良					
	布部間水	凝集沈殿ろ過装置改良、配水管改良 ポンプ所改良、電気計装盤改良	基本設計業務	基幹施設・配水管改良									
	山佐簡水	ポンプ所改良4箇所、電動弁滅菌機更新 滅菌機増設、取水施設改良	境谷・高木ポン プ所ポンプ更新	中央配水池配 水流量計更新				基本設計業務	基幹施設・配水管改良				
	比田簡水	配水管更新	梶ポンプ所電気 計装盤改良							配水管更新			
	須谷飲供	送水ポンプ更新、残塩計設置	送水ポンプ 更新		残塩計設置								
	奥田原簡水	テレメータ盤設置				後谷調整池テ レメータ盤設 置							
	西谷簡水	PH計更新・ポンプ更新、残塩計更新	PH計更新 ポンプ更新			残塩計更新							
	宇波簡水	テレメータ盤設置					喜上・大原・水田原ポン プ所テレメータ盤設置						
	安来地区	配水管接続、遠方監視システム					配水管接続・遠方監視システム						
安来地区	資産台帳整理、管路台帳(マップ図)			資産・管路台帳									

財源事業区分 国庫補助
 起 債
 一般単独

5. 水道事業 施設別統計 (平成20年度)

【上水道施設】

施設名	統合・編入年月日	供用年月日	計画給水人口	計画区域内人口	現在給水人口	給水戸数	区域内普及率(%)	年間総給水量(m ³)	年間有収水量	有収率(%)	計画1日最大給水量(m ³)	1日最大給水量(m ³)	1日平均給水量(m ³)	1人1日最大給水量(ℓ)	1人1日平均給水量(ℓ)	1人1日平均有収水量(ℓ)	月世帯平均使用量(m ³)	給水原価(円)	供給単価(円)	資本費(円)
安来地区系		昭和9年10月6日	38,925	29,805	29,522	9,791	99.05	3,855,178	3,426,953	88.89	19,400	12,011	10,562	407	358	317	29			
広瀬地区系	平成16年7月7日 安来市上水へ編入	昭和34年4月1日	5,200	4,075	4,041	1,281	99.17	427,149	398,540	93.30	2,200	1,360	1,170	337	290	269	26			
安来市上水道			44,125	33,880	33,563	11,072	99.06	4,282,327	3,825,493	89.33	21,600	13,369	11,732	398	350	312	29	136.48	155.04	71.55

【簡易水道施設】

施設名	統合・編入年月日	供用年月日	計画給水人口	計画区域内人口	現在給水人口	給水戸数	区域内普及率(%)	年間総給水量(m ³)	年間有収水量	有収率(%)	計画1日最大給水量(m ³)	1日最大給水量(m ³)	1日平均給水量(m ³)	1人1日最大給水量(ℓ)	1人1日平均給水量(ℓ)	1人1日平均有収水量(ℓ)	月世帯平均使用量(m ³)	給水原価(円)	供給単価(円)	資本費(円)
布部簡易水道		昭和47年4月1日	1,350	1,008	998	309	99.01	111,756	73,469	65.74	440.0	413	306	414	307	201	20	366.5	168.76	260.71
比田簡易水道		昭和53年4月1日	1,630	1,320	1,311	416	99.32	96,669	77,353	80.02	516.0	348	265	265	202	161	15	614.02	170.49	480.37
山佐簡易水道		昭和55年4月1日	1,250	1,082	1,060	361	97.97	110,387	75,396	68.30	292.0	362	302	342	285	194	17	157.83	166.79	26.82
西谷簡易水道		平成4年4月1日	250	215	203	58	94.42	10,223	9,954	97.37	84.0	68	28	335	138	134	14	860.22	174.86	739.71
奥田原簡易水道		平成10年6月1日	330	252	245	71	97.22	11,627	11,350	97.62	91.0	54	32	220	130	127	13	910.99	184.34	803.35
宇波簡易水道		平成13年4月1日	400	313	313	99	100.00	19,544	18,549	94.91	107.0	70	54	224	171	162	16	1,739.81	186.28	1,646.84
須谷飲料水供給施設		昭和61年4月1日	62	27	27	12	100.00	1,909	1,887	98.85	17.0	14	5	519	194	191	13	1,056.40	181.85	928.51
伯大簡易水道	平成16年2月3日 福富飲供編入	昭和35年4月1日	4,650	4,481	4,475	1,281	99.87	483,222	468,827	97.02	2,100.0	1,601	1,324	358	296	286	30	401.27	165.49	324.60
上十年畑簡易水道		昭和53年6月1日	250	160	158	50	98.75	11,016	10,679	96.94	37.5	44	30	280	191	185	18	195.51	152.82	54.01
小竹簡易水道		昭和55年6月10日	420	344	335	110	97.38	26,026	24,749	95.09	138.3	113	71	337	213	202	19	599.16	161.60	420.43
須山飲料水供給施設		昭和54年4月1日	96	50	50	19	100.00	4,425	4,020	90.85	14.4	23	12	450	242	220	18	187.37	147.25	113.23
草野飲料水供給施設		平成5年4月1日	85	60	60	24	100.00	3,431	2,987	87.06	21.25	33	9	553	157	136	10	1,202.09	171.25	1,081.12
大郷飲料水供給施設		平成10年4月1日	48	37	35	10	94.59	2,341	2,259	96.50	17.4	11	6	311	183	176	19	1,898.53	172.77	1,768.67
大谷飲料水供給施設		平成11年5月1日	20	13	13	7	100.00	310	227	73.23	6.8	4	1	338	65	48	3	17,123.10	319.39	16,231.29
久根簡易給水施設		昭和53年4月1日	48	28	28	9	100.00	2,118	2,006	94.71	7.2	9	6	336	207	196	19	191.49	145.65	0.00
清水撞簡易給水施設		昭和57年4月1日	41	25	25	10	100.00	2,038	1,874	91.95	8.2	6	6	256	223	205	16	268.14	155.49	105.98
計			10,930	9,415	9,336	2,846	99.16	897,042	785,586	87.58	3,898.1	3,174	2,458	340	263	230	23	455.63	166.96	358.77

市施設 総計			55,055	43,295	42,899	13,918	99.09	5,179,369	4,611,079	89.03	25,498	16,543	14,190	386	331	294	28			
---------------	--	--	---------------	---------------	---------------	---------------	--------------	------------------	------------------	--------------	---------------	---------------	---------------	------------	------------	------------	-----------	--	--	--

【その他 組合施設】

東中津簡易水道施設		昭和31年3月3日	200	155	155	38	100.00	19,500	18,500	94.87	80	63	53	406	345	327	41	27.00	31.70	
-----------	--	-----------	-----	-----	-----	----	--------	--------	--------	-------	----	----	----	-----	-----	-----	----	-------	-------	--

・上水道(5,001人～)

・簡易水道(101人～5,000人)

・飲料水供給施設(50人(10)～100人)

・簡易給水施設(農林水産省事業 50人未満)

6. 安来市水道施設位置図

